

2022年度 長野県社会福祉士会・福祉まるごと学会 実践研究発表 募集要項

- 1 学会趣旨 今夏、日本では新型コロナウイルスのデルタ変異株による感染が拡大し、酷暑や豪雨とも重なって、ひとときわ厳しい夏となりました。コロナ禍で様々な社会課題があぶりだされてきています。生活・生存の危機やSNSによる誹謗・中傷への対応など、福祉現場にもたらされた影響に対し、皆様が様々に取り組んでおられることと思います。その現状や実践を言葉にして会員間で共有し、広く社会への問題提起や問題解決に繋げていくことは、本学会が果たすべき役割の1つと考えます。募集分野や実践研究発表の枠組みにとらわれず、様々な問題について発表や報告ができる機会を提供したいと考えております。
- 2021年度の福祉まるごと学会は、初めてオンライン方式で開催いたしました。2022年度も、オンライン開催を含み、実施可能な方法を検討し、開催することを予定しています。ご理解と、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。
- 2 運 営 長野県社会福祉士会・福祉まるごと学会運営委員会（以下「学会運営委員会」）
- 3 応募資格 ① 原則として長野県社会福祉士会（以下「本会」）の正会員であること。
② 共同研究・発表も可能ですが、研究発表者の中に本会の正会員がいること。
③ 「7 要件手続」に従い、提出物を期日までに提出できること。
※ 基礎研修Ⅱを受講中および修了者について、研修の実践研究課題発表枠を設けます。
- 4 募集内容 応募する実践研究発表が、生涯研修制度6領域のどの分野に該当するか選択してください。
- (1) 募集人数 特に制限は設けません。
- (2) 募集分野 ① 権利擁護（実践と課題、多職種連携、虐待対応、権利擁護への住民参加など）
② 生活構造（生活とは、自立とは、参加とは何か等社会福祉士の役割など）
③ 相談援助（援助困難事例、専門職のジレンマ、アウトリーチの実際など）
④ 地域支援（地域のサポート体制、多職種ネットワーク、社会資源創設活動など）
⑤ 福祉経営（法人の現状と課題、人事考課、リスクマネジメント、経営実践など）
⑥ 実践研究（実践活動と評価、災害ボランティア、累犯障がい者支援など）
- 5 応募方法 裏面の様式1により原則Eメールにて申込みください。
- 6 応募期限 2022年1月31日(月)
- 7 要件手続 ① 実践研究発表原稿提出 期限：2022年3月23日(水)
② 添削後、4月中旬までに応募者に返送
③ 添削後の実践研究発表原稿提出 期限：2022年5月中旬を予定
- 8 発表期日 2022年6月11日(土) 予定 2022年度定時総会に併せて学会開催
① 発表時間は、原則15分+質疑応答5分。移動時間は5分とする。
② 発表の開始時間・会場は、応募内容により学会運営委員会が決定する。
- 9 問い合わせ 長野県社会福祉士会事務局
(〒380-0836 長野市南県町685-2 長野県食糧会館6F)
電話：026-266-0294 FAX：026-266-0339 E-mail：info@nacsw.jp

【様式1】 2022年度 福祉まるごと学会 実践研究発表 申込書 (提出期限: 2022年1月31日)

発表タイトル		
代表発表者氏名	_____ (会員番号: _____)	
所属機関	_____	
代表者連絡先	〒 _____ 住所: _____	
	電話: _____	FAX: _____
	Eメール: _____	
領 域	①権利擁護 ②生活構造 ③相談援助 ④地域支援 ⑤福祉経営 ⑥実践研究	
基礎研修II課題発表	基礎研修II <input type="checkbox"/> 受講中 <input type="checkbox"/> 修了	

【応募の流れ】

- ① 【様式1】をEメールで県土会事務局へ期限までに提出
- ② 第1回実践研究発表原稿をデータで提出。添削後速やかに返送する(メールで連絡)。
- ③ 添削後に修正し第2回実践研究発表原稿を提出、本原稿を当日の資料として印刷する。

【抄録のきまり】

- ① 構成(研究の背景と概要、目的、方法、結果、考察、結論)。抄録の様式は、【様式2】を参照。
- ② 抄録は、長野県社会福祉士会に所属し、研究誌や本会ホームページへの掲載を行う場合がある。
- ③ 個人情報の取扱は、「日本社会福祉士会 会員が実践研究等の事例を取扱う際のガイドライン」に従う。
参考 <https://www.jacsw.or.jp/information/documents/F.pdf>
- ④ 資料の作成から当日の発表まで、社会福祉士の倫理綱領に従い、倫理的配慮を行うこと。
参考 <https://www.jacsw.or.jp/citizens/rinrikoryo/>
- ⑤ 参考・引用文献は、日本社会福祉士会の投稿論文のきまりに従うこと。

【当日の発表】… 状況により、発表形態が変わる場合があることをご了承ください。

発表用データをUSBメモリー等に保存し、持参する。抄録のみの発表も可能とする。

【様式2】

実践報告・研究発表	①権利擁護 ②生活構造 ③相談援助 ④地域支援 ⑤福祉経営 ⑥実践研究	○で囲む
テーマ: ○○	所属: _____ 氏名: _____	共同発表の場合は連記する。 代表者に「○印」を付ける。

＜構成・記載様式について＞

① 上げられた項目を見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成してください。

- 研究発表
- 研究の背景と概要
 - 目的
 - 方法
 - 倫理的配慮
 - 結果
 - 考察
 - 結論

② A4用紙2枚に、実践研究を記載する。

③ 余白設定は原則上下20mm、左右20mmとし、字体は、HG明朝Bを指定。ポイントは11 or 10.5とする。